

緋牡丹博徒 お命戴きます (1971)

メディア 映画

ジャンル 任侠・ヤクザ

製作国 日本

色彩 Color

時間 93分

初公開日 1971/06/01

【解説】

緋牡丹お竜の活躍を描いたシリーズ7作目。脚本は大和久守正と鈴木則文が共同で担当。前作「緋牡丹博徒 お竜参上」でもメガホンを取った加藤泰が監督を務めた。任侠の世界に生きる女性の華麗な活躍を描いた作品。

熊本矢野組組長・矢野竜子。通称緋牡丹お竜は、上州の久保田組の賭場で、親分の実弟猪之助によるイカサマで窮地に陥ってしまう。武州熊谷結城組組長結城菊太郎により難を逃れるが、猪之助は破門に。そんな中、父親の法要のために九州へ帰ることにしたお竜だが、結城に惹かれ始めていた彼女は再び戻ることを約束する。熊谷に軍の兵器工場が建設され、公害に苦しむ農民たちを見た結城は補償金を出させようとするのだが、そんな結城を疎ましく思う富岡組組長らは、彼を消す計画を立て始める。

【クレジット】

監督 加藤泰

企画 俊藤浩滋

日下部五朗

脚本 大和久守正

鈴木則文

加藤泰

撮影 わし尾元也

美術 吉村晟

編集 宮本信太郎

音楽 木下忠司

出演 藤純子

若山富三郎

大木実

待田京介

内田朝雄

諸角啓二郎

上岡紀美子

沢淑子

沼田曜一

汐路章

名和宏

嵐寛寿郎

石山健二郎

河津清三郎

